

# 利賀っ子だより



R4. 4. 12

## ○ 「朝から忙しいです！」

新学期が始まり、日課表に従って学習を始めています。冒頭の言葉は2年生のMさんのつぶやきです。

1年生の入学後、しばらくは6年生が1年生の教室に向かい、ランドセルの始末等について教えるという学校が多くありますが、本校では、自分で考えて行動することを大切にしているため、だれが1年生のお世話を担当するかということには決めていません。

下級生ができた2年生は当然のように登校後のランドセルの始末、着替え等、1年生に手本を示しながらつきっきりで教えています。「そのうちぼくみたいに早く着替えができるようになるよ。」「ぼくも最初、教科書を1冊ずつ出していたよ。慣れると、まとめて出すことができるようになるよ。」など、年齢が一番近い学年だからこそできる1年生に寄り添った声かけに感心しました。複式学級であることのよさが子供の姿で見てとることができます。

入学した1年生はもちろんのこと、進級した2年生も張り切っています。



【1年生に朝の準備を教える2年生】

## ○ 小中合同運動会に向けて



【雪の残るグラウンドの横で】

来月の14日(土)は、小中合同運動会を予定しています。昨年度末には、運動会のスローガンを決め、新年度がスタートしてすぐに少しずつ準備を始めています。

グラウンドにはまだ積雪がありますが、先週は、グラウンド横の通路を使って、50m走のタイムの計測を行いました。

利賀小・中学校では、運動会での個人走は着順で順位を決めるではありません。それぞれがどれだけ自分の記録を縮めることができたかで勝負が決まります。他の人との競争ではなく、自分の記録に挑戦することになります。少人数だからこそできる

一人一人を大切に競技方法だと思っています。

雪で覆われたグラウンドを背景に走るのも利賀ならではの活動です。久しぶりの外での全力疾走に心地よい疲れを感じている子供たちでした。木々が芽吹くのと競い合うように子供たちの活動も躍動的になってきました。

(高田 公美)